

概況報告書  
植物の保護および検疫  
2011年7月

## 米国への食品および農産物の輸入

世界には米国内に流入する恐れのある多数の農業害虫および疫病がありますが、それらは特に肉類、動物、畜産物、果物、野菜、植物、土壌、種子、および植物を使用した手工芸品等の農産物が媒介となります。これらのリスクがあるため、米農務省（USDA）動植物検疫局（APHIS）は国外から米国内への特定の農産物の輸入を規制しています。

APHIS は、動物性および植物性の産物および副産物の輸入規制の策定を行っています。果物および野菜、肉類、植物および種子、家畜、皮革、剥製等の製品またはその他の農産物を米国に輸入する前、またはこれらの製品を輸入業者または仲介業者から購入もしくは入手する前に、適用される輸入条件を確認することが必要とされます。輸入条件を確認するにより、トラブルの発生を最小限に止め、費用がかかる遅延を防止し、罰則や商品の紛失を回避することが可能となります。

## 輸入業者のためのガイド

米国土安全保障省税関・国境警備局（CBP）は通関手続地における APHIS の規制適用を実施しています。CBP の農業専門家が輸入品貨物の検査に当たり、要求される許可証、衛生証明書（畜産物）、植物検疫証明書（植物製品）が貨物に添付されていることを確認します。

衛生証明書および植物検疫証明書は、貨物が米国の動植物検疫基準を満たすことを保証することを示すために輸出国が発行する法的文書です。例えば、植物検疫証明書によって、何らかの燻蒸処理が実施されたこと、または貨物の出荷前に検査が実施され害虫や疫病のリスクがないことが証明されます。

輸出業者は、APHIS が動植物およびそれらから派生するすべての製品を規制していることに留意する必要があります。例えば、APHIS は植え付け用の種子と手工芸品に使用される種子の両方を規制しています。米国に合法的に輸入するためには、商業的に加工および梱包された製品に対しても、それらの製品が米国の動植物検疫基準を満たすことを証明する輸出国の許可証または文書を必要とします。また、輸入業者は米国内で確認されない農業害虫や疫病の存在が確認される国や地域からの特定の製品の輸入は禁止されることにも留意する必要があります。

### 国外からの植物および植物製品の輸入

APHIS の動植物輸入規制情報 (FAVIR) のデータベースでは、品目別または国別に果物や野菜を検索し、米国への輸入に関する一般条件を調べることができます。データベースは [www.aphis.usda.gov/favir/](http://www.aphis.usda.gov/favir/) で参照できます。

「Approved Name (承認名)」フィールドで果物または野菜の種類を選択し、「Country/Region (国/地域)」フィールドで輸入先国を選択します。次のいずれかの結果が返されます。

- 「0 entries found (0 件が見つかりました)」とは、検索した果物または野菜の米国への輸入が許可されていないことを意味します。

- 「# entry(ies) found ([品目名および国名の後に] #件が見つかりました)」という結果が返された場合、「CIR」をクリックすると品目の輸入申告書が表示されます。
  - 輸入条件に「1 Subject to Inspection: This commodity is subject to inspection at the port of entry and all general requirements of 7 CFR 319.56-3 (1件の検査対象: この品目は通関手続地における検査を実施し、7 CFR 319.56-3のすべての一般条件を満たす必要があります)」と表示された場合、検索した果物または野菜は米国内での検査対象として許可されます。
  - 輸入条件に「Condition of entry treatment (輸入手続きの追加条件)」と表示された場合、検索した果物または野菜を米国に輸入するために追加手続きを必要とします。

また、APHISは、苗木や少量の種子を含む植え付け用植物および植物製品、材木、綿、切り花等の農産品、バスケット等の植物を材料とした手工芸品、蘭等の保護されている植物および植物製品、絶滅が危惧される植物種の輸入についても規制しています。

輸入業者の方は、外国産の果物および野菜、植物、種子、植物製品を輸入する際に、APHIS 許可証サービス局が発行する農産品の輸入許可証に申請するとともに、輸出国で植物検疫証明書を取得いただく必要があります。植物検疫証明書は、輸出国の植物検疫官が植物の輸出前に害虫および疫病の検査を実施したことを証明するものです。また、植物検疫証明書によって、植物の学名が特定され、貨物が米国の輸入規制に適合することが証明されます。

米国内の輸入業者の方は貨物が輸送されるはるか以前に農産物に関する許可証を取得いただく必要があります。輸入許可証は以下の担当窓口で申請いただけます。

## USDA-APHIS-PPQ

### Permit Unit

4700 River Road, Unit 133

Riverdale, MD 20737

電話: (877) 770-5990 または (301) 734-0841

メールアドレス: [permits@aphis.usda.gov](mailto:permits@aphis.usda.gov)

[www.aphis.usda.gov/plant\\_health/permits/index.shtml](http://www.aphis.usda.gov/plant_health/permits/index.shtml)

## 肉類、畜産物およびその副産物、家畜の輸入

APHIS は、外国産の動物の疾病が米国に流入しないように、肉類、畜産物およびその副産物、家畜の輸入を規制しています。米国で確認されていない家畜病が確認されている国からの特定の肉類、家禽類、牛乳、卵、および乳製品（バターとチーズを除く）、肉製品（ミートパイ、加工食品等）の輸入には獣医による許可証が要求される場合があります。また、ごく少量であっても肉類、家禽類、または加工済みの卵製品の成分を含む食品の輸入は許可証を必要とします。さらに、食用の肉類、家禽類、および卵製品の輸入は、USDA の食品安全検査局（FSIS）により規制されています。これらの製品を米国に輸入する際には、APHIS の動物検疫基準および FSIS の公衆衛生基準の両方を満たすことを示す衛生証明書を必要とします。輸入業者の方は次のサイトで適格国および輸入製品の種類をチェックいただけます:

[www.fsis.usda.gov/pdf/Countries\\_Products\\_Eligible\\_for\\_Export.pdf](http://www.fsis.usda.gov/pdf/Countries_Products_Eligible_for_Export.pdf)。

畜産品および家畜の米国への輸入に関する一般条件については、次の APHIS 家畜サービス局のウェブサイトでご確認いただけます:

[www.aphis.usda.gov/import\\_export/animals/animal\\_import/animal\\_imports.shtml](http://www.aphis.usda.gov/import_export/animals/animal_import/animal_imports.shtml)。

また、詳細については、下記の APHIS 家畜サービス局の全国輸出入センター (NCIE) までお問い合わせください。

4700 River Road, Unit 39

Riverdale, MD 20737

電話: (301) 734-3277/8364

ファックス: (301) 734-4704/8226

メールアドレス: [AskNCIE.Products@aphis.usda.gov](mailto:AskNCIE.Products@aphis.usda.gov)

APHIS はほとんどの家畜 (畜牛、豚、羊、山羊、馬、家禽類等) および家畜以外の特定の動物の輸入も規制しています。これらの家畜には USDA の輸入許可証が必要となります。また、米国を經由して他国へ輸出または搬送される APHIS の規制対象のほとんどの動物には通常は衛生証明書が必要となります。特定の動物種の輸入には輸入時および通関後の検疫が必要とされる場合があります。

APHIS の事務局はほとんどの州に所在し、家畜の輸入に関するアドバイスを提供しています。APHIS の事務局の一覧および規制対象の動物の種類については (許可申請やその他の輸入条件に関する情報を含む) 、次のサイトをご覧ください:

[www.aphis.usda.gov/import\\_export/animals/animal\\_import/animal\\_imports.shtml](http://www.aphis.usda.gov/import_export/animals/animal_import/animal_imports.shtml)。

**電子許可証システム (ePermits System)**

APHIS では、輸入業者の方向けの許可申請、状況確認、およびインターネット上での情報閲覧用のオンラインツールである電子許可証システムもご利用いただけます。このシステムを使用することで、許可申請、データ処理、許可証の発行にかかる時間を短縮することができます。オンラインからの許可証の申請方法については、次のページをご覧ください: [www.aphis.usda.gov/permits/learn\\_epermits.shtml](http://www.aphis.usda.gov/permits/learn_epermits.shtml)。電子許可証システムへのご登録は、次のサイトをご覧ください: [www.aphis.usda.gov/permits/eauth\\_epermits.shtml](http://www.aphis.usda.gov/permits/eauth_epermits.shtml)。

特定の品目の輸入には、各州の農務局、魚類野生生物局、または環境局が発行する許可証またはその他の文書が必要とされる場合があります。また、各州当局により、認可に関するその他の条件が適用される場合があります。

### 密輸禁止および貿易コンプライアンス

米国内への密輸品および不適格な輸入農産品の流入量の増加に伴い、APHIS は密輸禁止および貿易コンプライアンス (SITC) プログラムを制定しました。SITC の目的は、輸入が禁止されている農産品の違法な流入および流通を特定することです。それらの製品は、米国の作物、家畜、環境に重大な影響を与える可能性のある外国産の有害な動植物害虫、疫病、または侵入種の温床となることが考えられます。

SITC 担当官のチームは全国の市場や食料品店を調査し、禁止されている農産品の特定に努めています。製品が違法に輸入されるか、または規制に対する違反があったという証拠が当局にある場合、その製品は起訴の対象となります。その証拠が正当であると見なされる場合、APHIS は民事的および刑事的制裁を要請します。現在まで、当

局の調査の結果、大陪審への起訴および連邦量刑、数十万ドルに及ぶ罰金、数百万ドル相当の禁止農産品の差し押さえが実施されています。

そのため、流通業者および市場所有者の方は合法的な流通経路を通じて輸入された製品を購入することが要求されます。同様に、農産品に付随する積荷書類および請求書を検査・保管することも求められます。販売者が故意に寄らず禁止品目を販売している場合、現場調査官が連邦規制について説明し、違法な輸入経路の調査を開始します。

市場所有者の方は市場内において密輸の疑いがある農産品の取引またはその疑いがある製品あるいは業者について SITC にご報告いただく必要があります。農産品の密輸取引に関する報告は、電子メール ([sitc\\_mail@aphis.usda.gov](mailto:sitc_mail@aphis.usda.gov)) または SITC 全国ホットラインのフリーダイヤル ((800) 877-3835) までご連絡ください。SITC プログラムに関する詳細は、次のサイトをご覧ください:

[www.aphis.usda.gov/international\\_safeguarding/sitc](http://www.aphis.usda.gov/international_safeguarding/sitc)。